



# FUKUSHIMA 市民インタビュー

このコーナーでは、福島市のさまざまな分野で活躍する人や団体を紹介します。今回は、個人の庭や店先などを花で飾りオープンガーデンとして一般開放する「花のまちチャレンジガーデン」に第1期から参加し、自宅の庭の藤棚を開放している菅野千枝子さんにインタビューしました。



花のまちチャレンジ  
ガーデン第1期認定  
菅野 千枝子さん

### 参加したきっかけは？

30年前、梨農家を引退した義父が趣味で藤を育て始め、その後私が引き継ぎました。

初めは近所の方が見に来る程度でしたが、病気で倒れた義父を近所の方が元気づけようと、庭の藤を新聞に投書してくれました。その後、新聞やテレビで取り上げられ、遠方からもたくさんの方が見に来るようになりました。

そんな中、福島市の花のまちチャレンジガーデンへ声を掛けられたのをきっかけに参加しました。

### 活動で苦労したことは？

剪定などの藤の手入れですね。義父が亡くなって2年ほどで夫も亡くな



花の長さは最長1・5メートルほどまで成長

### やりがいは？

花はすごい力を持っていて、花の前ではみんな自然と笑顔になるんですよ。他人同士でも会話が弾むので、藤が咲くと笑い声があふれる交流の場となるんです。体が不自由な方や、高齢の方も多く来られますが、来た時よりも明るい表情になって帰られるのを見ると、こちらも笑顔になります。

### 今年の藤の見ごろは？

今年は例年よりも少し遅く5月中旬になりそうです。藤の花は20日間くらい楽しめますので、ぜひお越しくださいね。

### 住所・連絡先

上野寺字祭田13  
☎591-1664

チャレンジガーデンは、自分の庭のきれいな花をみんなで楽しみたいという気持ちで一般開放されています。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょう。詳しくは市ホームページか、公園緑地課にお問い合わせください。

公園緑地課  
☎525-3737

## 市長コラム No.14

### 「福島市二万年の歴史」

福島市長 小林 香



「福島には何も無い」という言葉を聞くことがありました。しかし、福島市には誇るべき豊かな歴史と文化がありますので、その魅力を市民の皆さんに知っていただきたいと感じていました。そこで、市制施行110周年を迎えるこの年に「ふくしま歴史絵巻」として、本市を語る上で欠かすことのできない重要で歴史的な出来事や素晴らしい人物に焦点を当て、一冊の本にまとめました。

やすく紹介しています。社会科学の副教材に活用してもらいたい。市内の小学6年生に配布するほか、市内の主な書店でも販売しています。



▲ふくしま歴史絵巻

この本は旧石器時代から現代までの「福島市二万年の歴史」を73ページの中で分



▲佐藤継信・忠信兄弟の墓 (医王寺：飯坂町平野)

宮畑遺跡に代表される縄文時代の人々の生活や「平家物語」に描かれた佐藤継信・忠信の兄弟をはじめとする信夫庄司佐藤氏の活躍、福島市の繁栄を支えた養蚕業など、この土地に暮らした人々の営みを通して郷土・福島市の魅力を再発見できる内容です。ぜひ書店でお求めいただき、ふるさとの素晴らしい歴史に触れていただければ幸いです。